

## はじめに

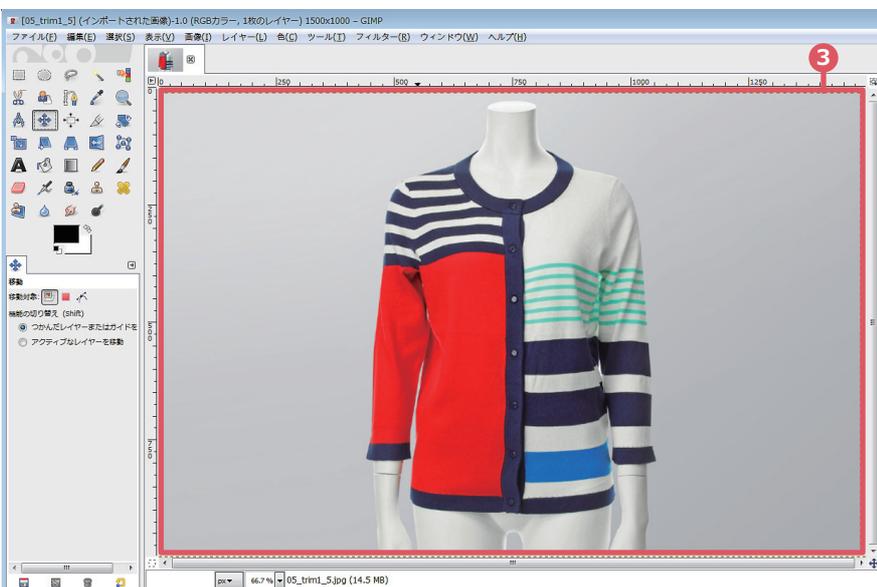
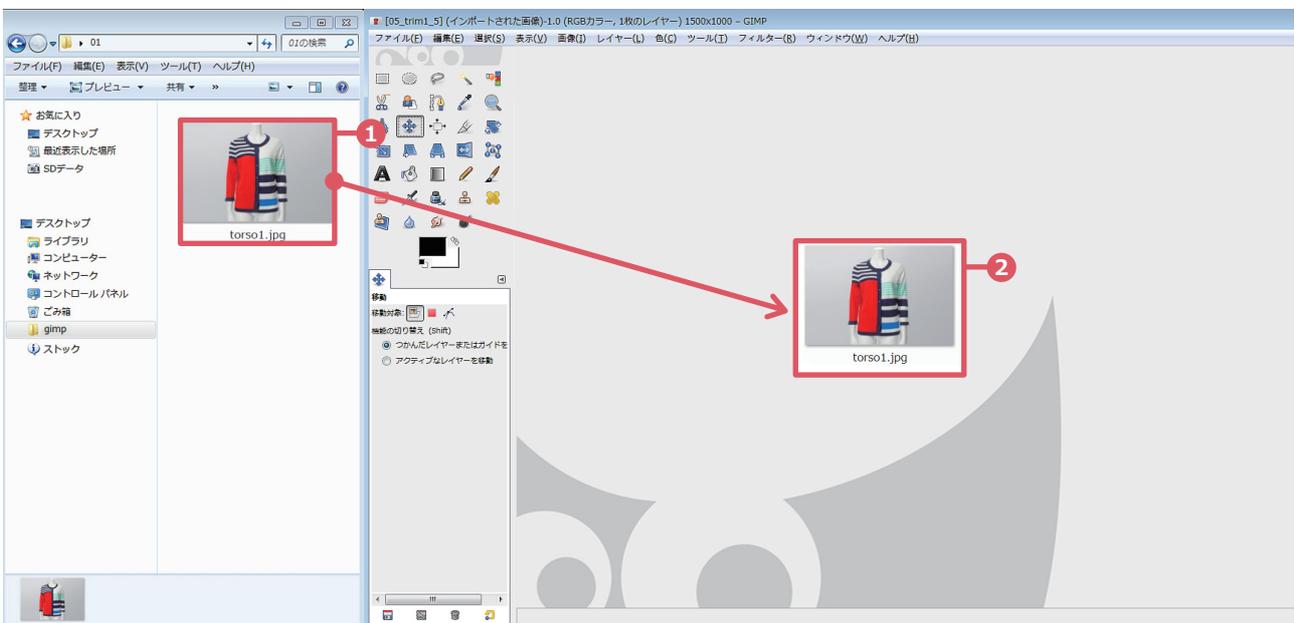
## GIMP (ギンプ) とは

GIMP は無料でダウンロードできる画像編集ソフトです。有料の画像ソフトは Photoshop が有名ですが、商品画像の加工はこの GIMP で充分補えます。

## 商品画像作成時に GIMP でできること

- 画像の変形・回転・切り抜き
- 画像の明るさや色を調整
- 画像に文字やロゴを挿入
- 白抜き画像の作成

## ファイルを開く



- 1 編集する画像をフォルダから選択し、クリックしたまま GIMP の中にドラッグする。
- 2 1 でクリックした画像ファイルを離す。
- 3 GIMP 上に画像が開く。

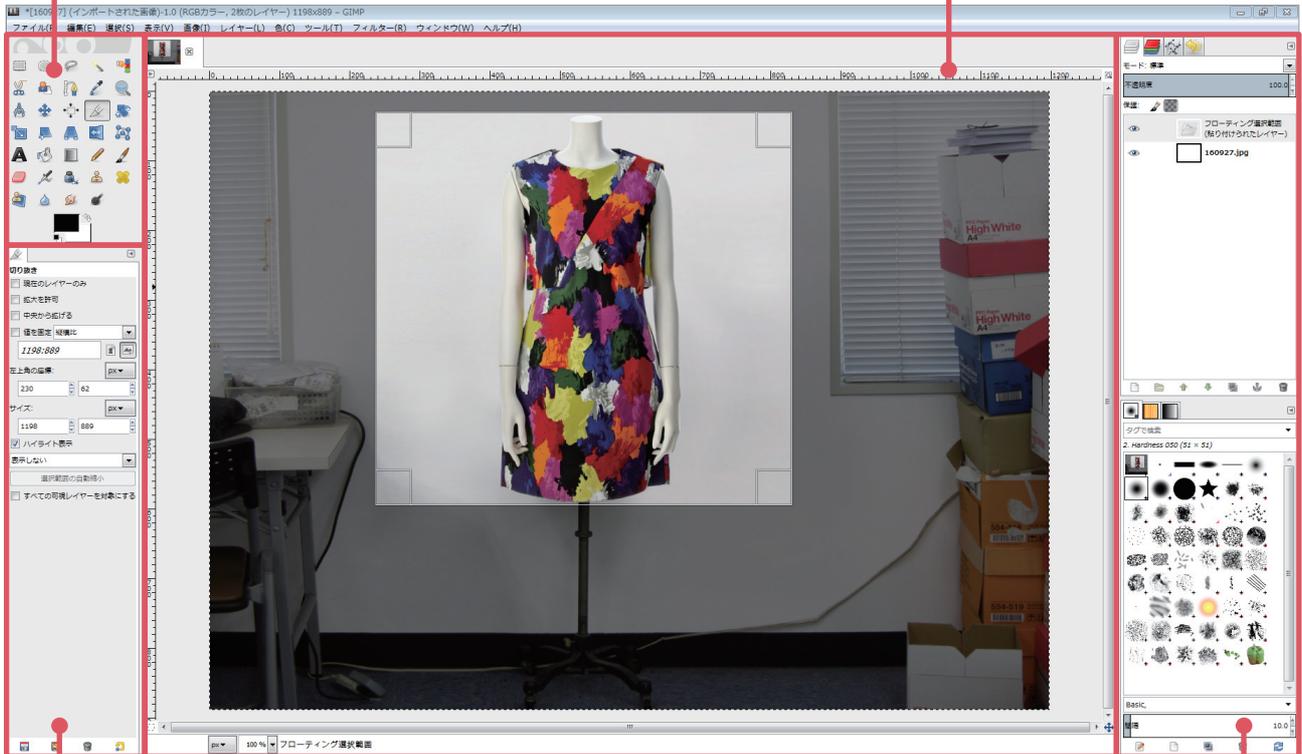
# 画面の詳細

## ツールボックス

画像加工に必要なツールを選択するボックス。

## 画面ウィンドウ

編集している画像が表示されているエリア。



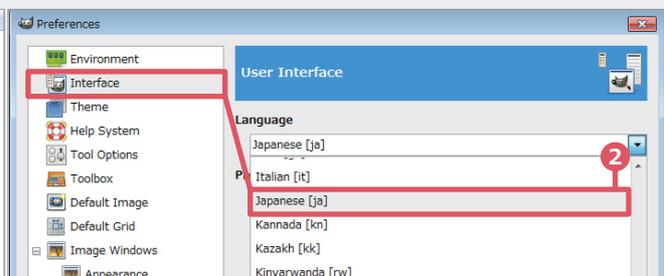
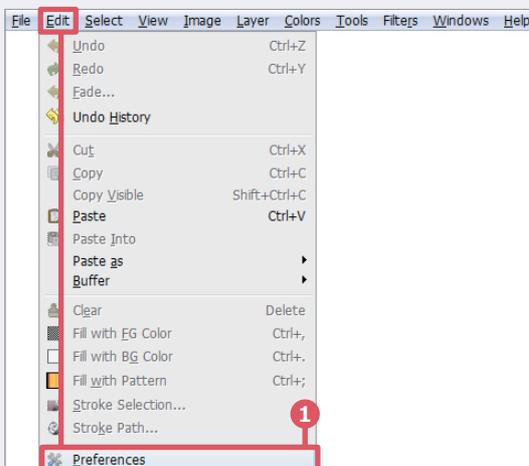
## ツールオプション

ツールボックスで選択したツールの細かい設定を行うボックス。

## ダイアログ・ドック

画像の編集・作業の確認が行えるドック。

## ? 日本語表記に変更するには？



- ① GIMP を起動して【 Edit 】から【 Preferences 】を選択する。
- ② 開いたウィンドウ左側の【 Interface 】から【 Japanese [ja] 】を選択する。
- ③ 設定が終わったら、GIMP を閉じて再度起動する。

## CONTENTS

1-1	はじめに	1
1-2	画面の詳細	2
1-3	もくじ	3

 <p><b>1 2-1 回転</b> ..... 4-5</p> <p>撮影時に意図しない方向に傾いた画像の角度を修正することができます。</p>	 <p><b>2 2-2 切り抜き</b> ..... 6</p> <p>スーパーデリバリーで商品が大きく見えるように、1:1 の比率で画像を切り抜くことができます。</p>	 <p><b>3 2-3 明るさ調節</b> ..... 7</p> <p>暗すぎる画像を明るくしたり、明るすぎる画像を暗くすることができます。</p>
---	---	--

 <p>クリムゾン カーマイン スカーレット</p> <p><b>4 2-4 文字入れ</b> ..... 8</p> <p>画像に文字を入れることができます。(色展開などセットが複数ある場合は判別しやすいよう画像に色名などを入れます。)</p>	 <p><b>5 2-5 画像の保存</b> ..... 9</p> <p>スーパーデリバリーに掲載する際、画質を落とさずファイル容量の軽い画像で保存することができます。</p>
--	---

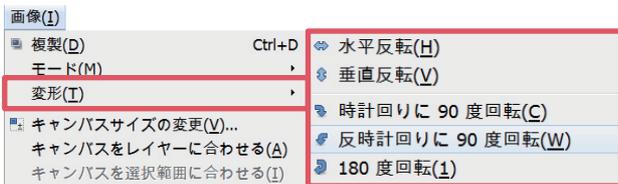
3-1	基本的な操作	10
3-2	画像の余白が足りない場合	11

# 回転

商品画像が意図しない方向で撮影されてしまった場合、回転機能で修正することができます。



## 回転



● 「画像」メニューの『変形』から回転させたい項目を選ぶ。  
※選択する項目により回転方向が異なる。



元画像



水平反転



垂直反転



時計回りに 90 度回転



180 度回転

# 回転

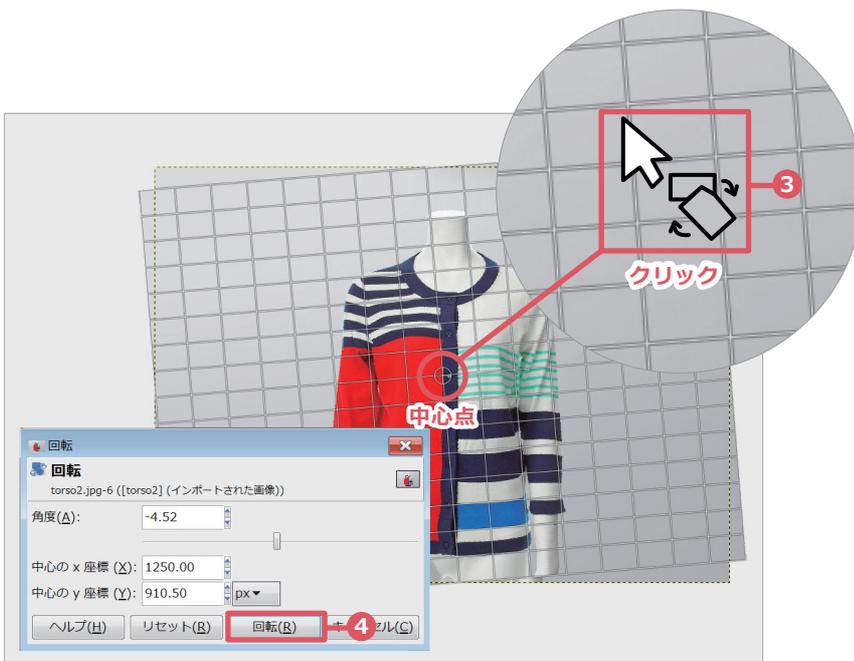
撮影した商品画像が傾いてしまった場合は、回転機能を使用して画像を意図した角度に微調節することができます。



## 回転



- 1 ツールボックスから「回転」ツールを選択する。
- 2 ツールオプション内の「プレビューを表示」に☑。



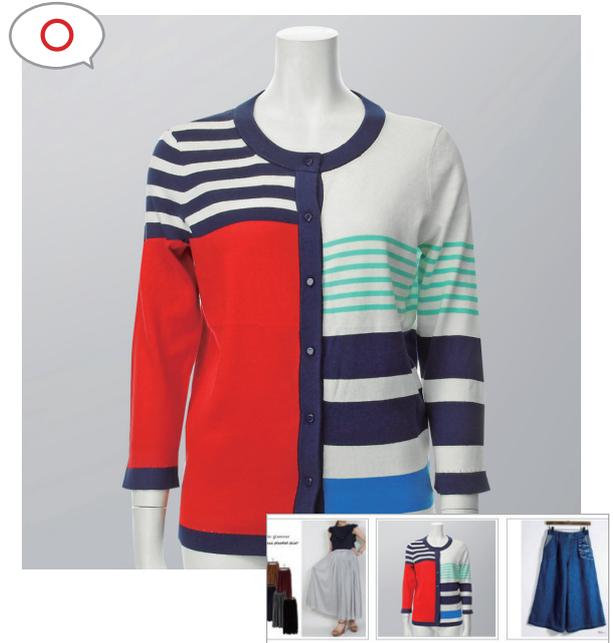
- 3 画面をクリックすると格子が表示され、中心点を基点に格子状の部分をドラッグすると回転する。
- 4 「回転」ボタンを押すと角度が確定される。

※角度を数値で入力して調節することも可能です。

# 切り抜き

スーパーデリバリーでは画像の長辺に合わせて縮尺表示をするので、画像に不要な余白があると商品が小さく掲載されてしまいます。そこで切り抜きツールを使うと、商品を大きく切り抜くことができます。

※スーパーデリバリーに掲載する画像は1:1(正方形)を推奨しています。

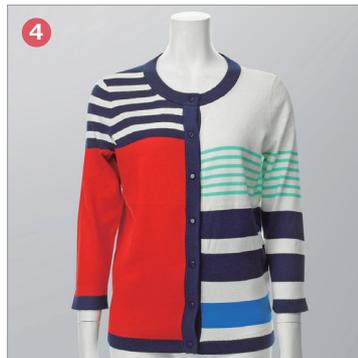


## 切り抜き



- 1 ツールボックスから「切り抜き」ツールを選択する。
- 2 切り抜きの詳細を設定する。

- ・「拡大を許可」に☑。
  - ・「値を固定」に☑。
  - ・プルダウンを「縦横比」に選択、ウインドウに「1:1」と入力する。
  - ・「ハイライト表示」に☑。
  - ・「すべての可視レイヤーを対象にする」に☑。
- ※設定内容は変更しない限り持続します。



- 3 画像の切り抜きたい部分をドラッグする。
- 4 Enter キーを押すと画像が切り抜かれる。

画像の中の余白が足りず正方形に切り抜けない場合は、**P11**の方法で解決できます。



## 明るさ調節

画像の明るさによって商品の色合い・質感は変わって見えてしまいますので、実際に見た状態に仕上げるのが重要です。そこで「レベル」機能を使用すると、撮影した商品画像の明るさが変更できます。



## レベル

**調整前**

**色(C)**

- カラーバランス(B)...
- 色相-彩度(S)...
- 着色(Z)...
- 明るさ-コントラスト(R)...
- しきい値(T)...
- レベル(L)...**
- トーンカーブ(C)...
- ポスタリゼーション(P)...

① 「色」メニューから『レベル』を選択する。

② 入力レベルの下にある 3 つの三角形を移動させて明るさを調節する。

▲	▲	▲
シャドウ	中間色	ハイライト
暗い部分を調整します	画像全体を調整します	明るい部分を調整します

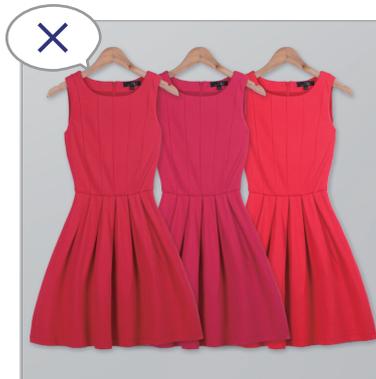
**調整後**

③ 調節が完了したら OK ボタンを押す。

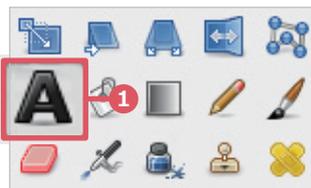
# 文字入れ

色や柄など同一商品内で複数の展開がある商品は、商品情報の内訳と連動しやすいように色名や柄名を入れると小売店が購入しやすくなります。

また、使用例や補足など画像だけで商品の情報を伝えきれない場合などにこの機能が役立ちます。



## テキスト



- 1 ツールボックスから「テキスト」ツールを選択する。
- 2 文字の形式を変更することができる。

- ・フォント…文字の書体を選択する。
- ・サイズ …文字の大きさを選択する。
- ・色 …文字の色を選択する。

- ・「なめらかに」に☑



- 3 画像内で文字を入れたいところをクリックする。
- 4 文字を入力する。



- 後から文字の大きさを変更したい時は…
- 5 変更したい文字を選択する。
- 6 ツールオプションの文字サイズの数値を変更する。

# 画像の保存

スーパーデリバリーに掲載する商品画像はJPEG形式を推奨しています。ここでは画像をアップする際に時間がかからないよう、ファイル容量の少ない（軽い）保存方法を紹介します。

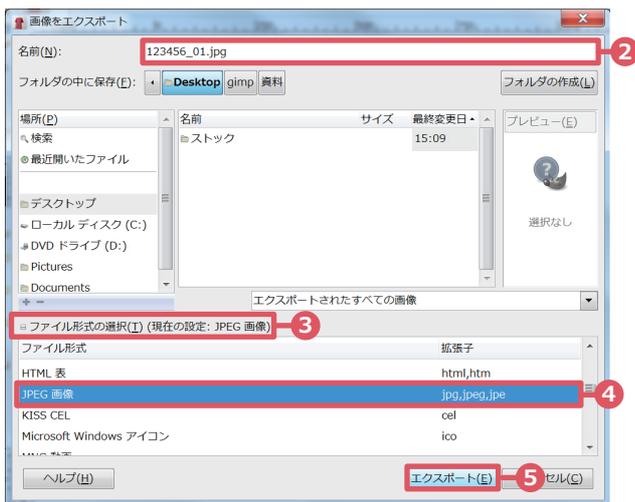


## 画像のエクスポート

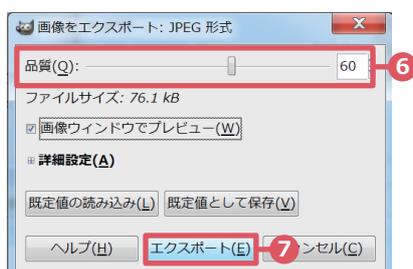


- 1 「ファイル」メニューから『名前を付けてエクスポート』を選択する。

ショートカットキー：  
(Shift) + (Ctrl) ((⌘) + E)



- 2 画像名を入力する。
- 3 【ファイル形式の選択】の+(プラス)ボタンを選択する。
- 4 ファイル形式から【JPEG画像】を選択する。
- 5 エクスポートを選択する。



- 6 「画像をエクスポート」画面が開いたら、【※品質 :60】を入力する。

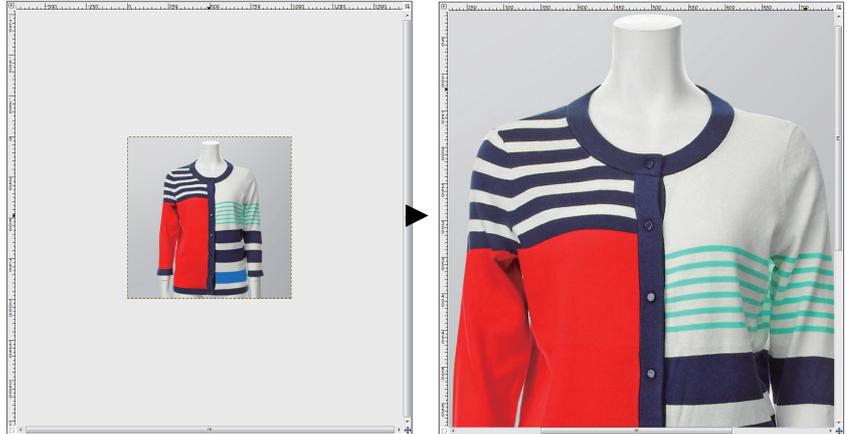
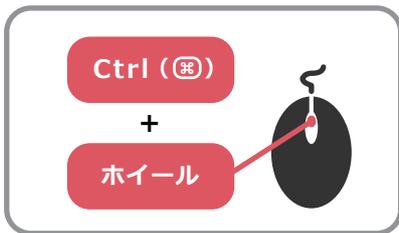
画質を落とさずファイルの容量を軽減できるため、スーパーデリバリーに掲載する画像として最適な設定となる。

- 7 「エクスポート」を選択して画像を保存する。

# 補足：基本的な操作

## 画像の拡大・縮小

画像の上にカーソルを置き、【Ctrl (⌘)】を押しながら【ホイール】を前後に動かすと画像が拡大して表示されます。



## 画像のスクロール

ウィンドウで商品の見たい部分が表示されていないときに、【スペースキー】を押しながらマウスを【ドラッグ】させると画像を移動できます。



## 操作を取り消す

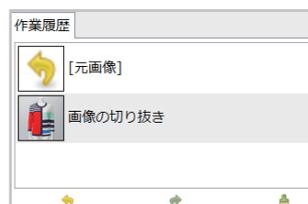
### ● 編集メニューから「～を元に戻す」を選択する



- ・『～を元に戻す』…直前に行った操作を取り消す。
- ・『～をやり直す』…「～を元に戻す」で行った操作をやり直す。

ショートカットキー：元に戻す … Ctrl (⌘) + Z  
 ショートカットキー：やり直す … Ctrl (⌘) + Y

### ● 作業履歴から戻したい作業段階を選択する



ウィンドウメニューからドッキング可能なダイアログを選択し、「作業履歴」を表示させる。

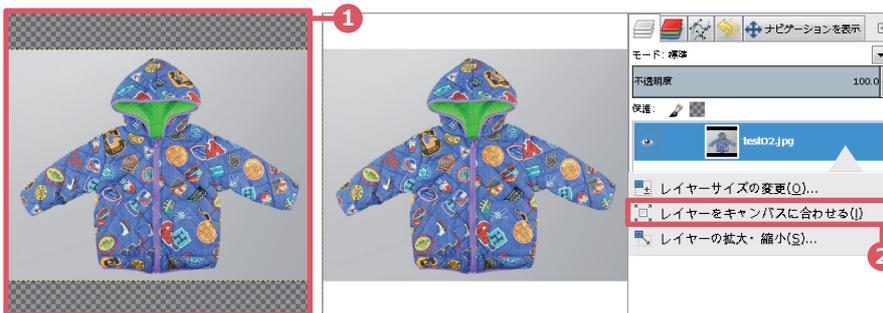
作業履歴の一覧から戻したい作業段階を選択する。

## 補足：画像の余白が足りない場合

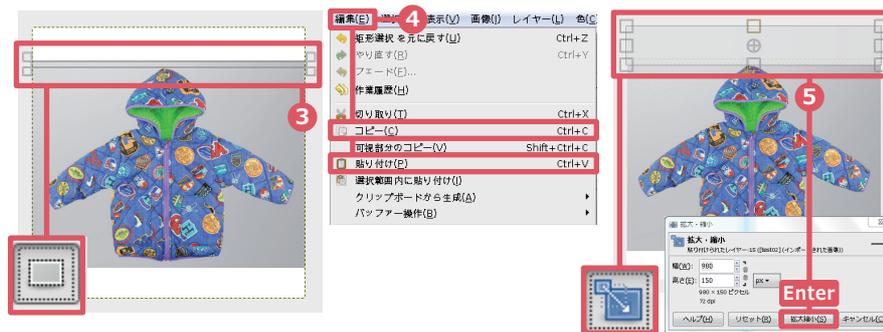
正方形に切り抜こうとした際に画像内の余白が足りないと商品の一部が切れてしまう恐れがあります。  
そんな時、画像の背景色が均一でしたら下記のように商品の一部を切らずに自然な正方形の画像へ加工することができます。



### 余白を伸ばす



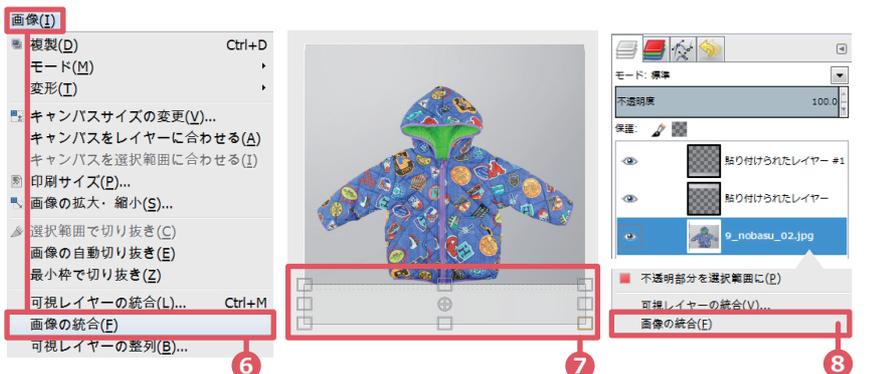
- 1 画像を 1 : 1 の比率に切り抜く。  
(P6の切り抜きを参照)
- 2 画面右のドック内にあるレイヤーから画像レイヤーを右クリックし、「レイヤーをキャンバスに合わせる」を選択する。
- 3 「矩形選択ツール」で伸ばしたい箇所を選択する。
- 4 「編集」メニューから『コピー』を選択し、同じく「編集」メニューから『貼り付け』を選択する。



ショートカットキー：  
コピー … (Ctrl) (⌘) + C  
貼り付け … (Ctrl) (⌘) + V

- 5 ツールボックスの「拡大・縮小ツール」で伸ばしたいところを引き伸ばして拡大し、「拡大縮小」ボタンを押して確定する。

ショートカットキー：  
拡大縮小 … (Shift) + T



- 6 「画像」メニューから『画像の統合』を選択する。

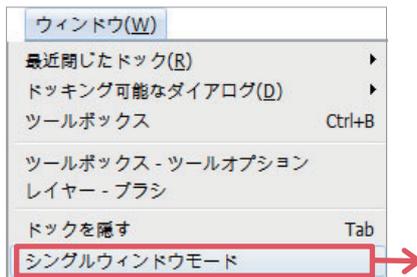
ショートカットキー：  
画像の統合 … (Ctrl) (⌘) + M

- 7 ③～⑥と同様の手順で画像の下半分も伸ばす。
- 8 ドック内のレイヤーから画像レイヤーを右クリックし、「画像の統合」を選択する。

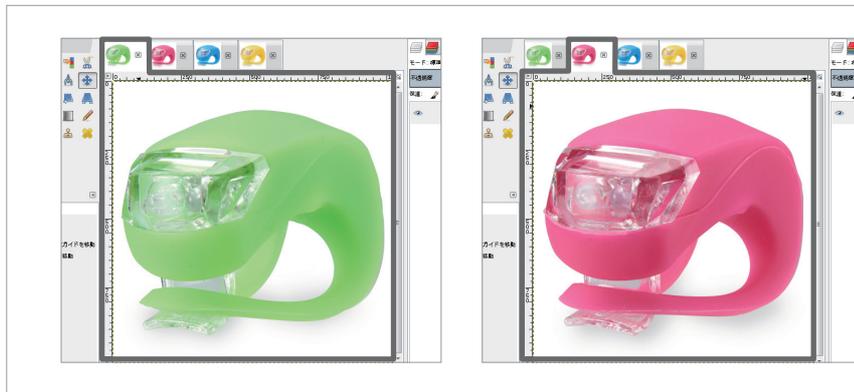
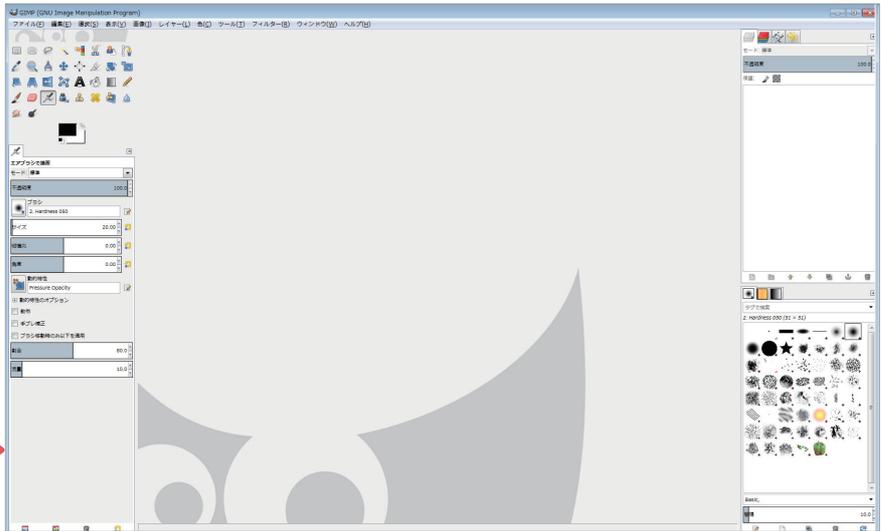
# 補足：ウィンドウとツールの表示

## シングルウィンドウモード

シングルウィンドウモードにすると、複数の画像を 1 つのウィンドウで扱え、商品 1 型につき複数カットを加工する場合、非常に重宝する機能となります。



『ウィンドウ』メニューから『シングルウィンドウモード』を選択する。

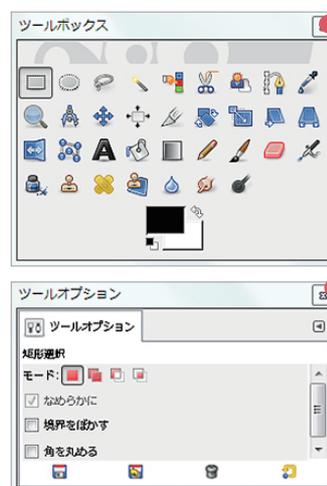
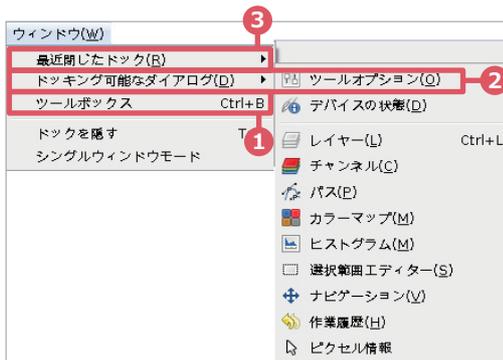


メニューバーの下のサムネイルタブで編集する画像を切替えることができる。

※シングルウィンドウモードは設定を変更しない限り持続します。

## ツールボックスの表示

「ツールボックス」「ダイアログ・ドック」が消えてしまった場合はウィンドウから再度表示することができます。



① 「ウィンドウ」メニューの『ツールボックス』を選択する。

② 「ウィンドウ」メニューの「ドッキング可能なダイアログ」から『ツールオプション』を選択する。

③ 「ウィンドウ」メニューの『最近閉じたドック』または②で表示したいドックから必要な項目を選択する。